

平成 29 年度第 1 回琴浦町地方創生推進会議（結果）

日時：平成 29 年 12 月 18 日（月）19：00～20：45

場所：本庁舎 防災会議室

1．参加者	黒田委員、長谷川委員、米原委員、佐伯知委員、平野委員、林原委員、山崎委員、和田委員、眞山委員、松田委員、井上委員、佐伯健委員、大石委員、安谷委員、藤原委員、信組委員、御古委員、笠見コンシェルジュ、町長、事務局 4 人
2．欠席者	柳沢委員、光本委員、中西委員、高尾委員、小野委員、中谷委員、山村委員、四門委員
3．内容	<p>1．開 会 藤本課長（企画情報課） 中西会長が都合により急遽欠席されたため、大石副会長に会議を進めていただきます。</p> <p>2．あいさつ 大石副会長・・・皆さん、忌憚のないご意見をお聞かせください。 山下町長・・・地方創生に関連する主なものを申し上げます。 ・公共施設の今後のあり方について。 ・道の駅同士を結ぶインターが H30 年度中に完成予定。 ・旧以西小学校を農業体験施設に活用。 ・銀サケ「とっとり琴浦グランサーモン」 ・芝収穫機の商品化 限られた時間配分の中ではありますが、有意義な会にしていただくことをお願い申し上げます。</p> <p>3．協議事項 平成 29 年度総合戦略関連事業の進捗状況について（9 月末現在） 事務局より未実施の項目について説明。 10 月以降に実施予定のもの、検討したが町の施策としてマッチしないものなどを説明。 地方創生加速化交付金・推進交付金事業の進捗状況について（9 月末現在） 事務局より概要を説明。 総合戦略の改定案について 事務局より改定案について【概要】をもとに説明。 ・上方修正 5 つ、下方修正 1 つ、その他の修正（名称等修正）7 つ ・「具体的な取り組み」の修正 追加する項目及び削除する項目</p> <p>4．その他 今後のスケジュール 1 月 議会特別委員会へ説明 3 月 推進会議で最終改訂案を確認 議会特別委員会へ説明 総合戦略（2017 改訂版）決定</p> <p>5．閉 会 藤本課長</p>

4. 主な意見

推進委員からの主な意見は、次のとおり。

平成 29 年度の総合戦略関連事業の進捗状況について

進捗状況の評価の欄があるにもかかわらず評価が入っていないのはなぜか。評価に関しては、年度末に評価することとしています。進捗状況が9月末現在での評価であり、まだ評価できない項目もあります。各担当が記入するにあたって、評価を念頭において下半期を取組んでいくこととしております。中間時点での評価も次回から検討していきます。

ふるさとを愛する教育の充実について・ふるさとを支える人づくり各種行事（ジュニアリーダーの育成やことうらこどもパークなど）はどれも休日開催となっている。子どもたちは現在、スポ少や部活などで休日が忙しい状況。部活が休みでも家族で出かけるよりも魅力的な内容を提供できるのか、それがどれだけの費用対効果があるのか。それよりは総合的な学習で、そばや梨の栽培体験など学習の中に直接入れるような体験をしていくほうが、学校も児童も受け入れやすく効果的。休日に特別な行事をするより、総合的な学習を充実すべきでは。教育委員会の事業なので具体的には分かりませんが、学校教育のカリキュラムの中では新しい事業を追加していくのがなかなか難しいため、試行錯誤で進めています。

子どもパークについては毎回ある程度の参加があると聞いています。しかし、確かに部活などで休日に参加することが難しいことについては問題意識を持っております。担当課に伝えていきます。

銀サケ養殖について今後は、加工・製品化していくと思うが、加工する過程において臭気等が発生する問題が生じるのではないかと。加工に関しては、どこでどのようにするのかまだ決まっていますが、確かに加工工程での臭気等の問題が考えられます。問題意識を持って対応していきたいと思えます。

地方創生加速化交付金・推進交付金事業の進捗状況について

取り組みの目標設定をあげていただくと進捗状況の判断がしやすくなる。次回からはK P Iの達成状況の記載をしたいと思えます。いきなりK P Iに反映する事業は少ないと思えますので、例えば今年度の目標は“協議会の開催”など分かりやすい目標で評価する考え方もあると思えます。単年の目標として違った項目立てでもいいのではないのでしょうか？その方向で次回から検討していきます。（総合戦略も含めて検討していく。）

総合戦略の改訂案について

山陰自動車道及び北条湯原道路等の高速ネットワークアクセス向上（企業誘致・観光政策）が具体的対策としてあげられているが、29年度の進捗状況において、企業誘致は人材不足のため一旦休止の方向としている。なぜ？企業誘致に関しては町として積極的に取組むことは難しいですが、観光の面として鳥取中部観光推進機構と連携して広域観光として積極的に取組んでいくことを考えております。

県と連携したワーキングホリデーの実施とあるが、受け手側とのマッチン

グシステムを具体的に示してもらいたい。(JAが今年実施したものは条件が合わず、実施に至らなかったため。)

県からは受け入れ先にご協力くださいとの説明は受けておりますが、町として、今後どのように対応するのかは具体的には分かりかねる状況ですので、再度担当課に聞いてみたいと思います。

「牛乳のまちことうらのPR」などが削除された経緯をもっと詳しく教えていただきたい。新しいものだけを支援するようになりますか？

特定のものだけを特化してPRするのではなく、主要生産物のPRも販路拡大に集約した形です。

個々のものを否定するものではなく、総合的に取組んでいくということです。

総合戦略は5年計画の目標なのに3年で改訂する必要があるのか、達成するために、どうアクションするのかというのが見直しであると思う。もともと改訂ありきのものだったのか教えてもらいたい。

27年度に国が地方創生の流れをつくる中で策定したもので、新たな事業展開もあるため、その都度見直しをするというのが全国的な流れと理解しております。県におきましては毎年見直し・改訂されている状況です。町といたしましても中間で見直し、改訂させていただくことを提案した次第です。

「男性の育児休業取得者数」の下方修正(30人→10人)について働き方改革を推進している時代の中で敢えて目標を下げた理由は？実際に対象者はどのくらいいるのか？根拠のない数字なのでは？今の実態だけとらえて判断してよいか。

担当課としては申請者数でカウントするように考えているようです。企業に制度周知はしている状況ですが、該当がないのが現状です。推進会議で下方修正しないほうが良いというご意見があれば、修正しない方向で検討します。

みなさまのご意見を聞く会ですので、修正しない方向で検討します。

企業誘致を推し進めないといった町の方針に反対です。琴浦町に仕事がないから人が流出してしまうのではないかと。給与水準も低いのが実情ではないか。琴浦町で暮らすことに関して一定の支援がないと住まないのでは？琴浦町の企業数は県下の町村では一番多く、給与水準も県下の相場であります。町におきましては、大学進学奨励金や、高校生の進学奨励金の制度を設けています。しかし、それで安定的な生活ができるかという確証はありません、悩ましい問題ではあります。

町内の企業の雇用確保・安定雇用を図るため、今は積極的な企業誘致は考えておりません。

自宅のできる仕事であったり、大企業の大量雇用ではない、新しい企業のあり方の整備などは琴浦町としてはまだ環境が整っていないと認識しています。

多数の労働力が必要な企業誘致は難しいといったところが町長さんのご意見だと思いますが、旧校舎を利用した先駆的な事業展開をされた八頭町の「隼ラボ」のような取り組みの門戸は広げてほしい。

先駆的な活動や姿勢については、これまでも支援する姿勢できたと思えますし、これからもそうしていきたいと思えます。

具体的取り組みの追加として「育む」に追加してほしい項目があります。子どもを産みたくないけれど妊娠してしまった方がいる、その方の相談窓口を設置してほしい。

実際に持ち帰って、どこが担当課になるのか協議が必要となると思います。妊娠して届出が提出されれば分かりますが、妊娠を隠して悩んでいる方をどう発見するのかという問題もあると思います。

船上山・大山滝の活用について、ストリートビューを活用して船上山や大山滝のPRをすれば若い人の注目を惹くのではないか。

具体的な取り組みについては来年度に、担当課で取組むこととなっております。実際にストリートビューの活用をしているかは分かりませんが、動画や画像を活用することは大切なPR媒体だと認識していますので、今いただいたご意見を担当課に伝えます。

情報を拡散させる取り組みや、視覚に訴える取り組みも必要になってくると思います。

ストリートビュー・・・googleが無料提供している地図検索サービスでマップ上にある地点をクリックすると風景をパノラマ写真で見ることができ

藤本課長

いろいろとご意見をいただきありがとうございました。

本日いただいたご意見を持ち帰り検討していきたいと思

(今後のスケジュール説明)

1月 議会特別委員会へ説明

3月 推進会議で最終改訂案を確認

議会特別委員会へ説明

総合戦略(2017改訂版)決定

これを持ちまして、閉会したいと思います。

本日は長時間にわたり、ありがとうございました。